

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	未回答
環境体制	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2		
	2	職員の配置は適切であるか	2	3		
	3	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか		5		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返)に広く職員が参画しているか	1	4		
	5	保護者等向け利用評価表を活用によりアンケート調査実施して保護者の意向等を把握し業務改善につなげているか	5			
	6	この自己評価結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			
	7	第三者による外部評価を行ない評価結果を業務改善につなげているか	2	2	1	
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行なうために研修の機会を確保しているか	5			
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか	5			
	10	子どもの適応行動状況を図るために標準化されアセスメントツールを使用しているか	2	2	1	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			
	12	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	2	3		
	13	平日、休長期休暇に応じて課題をきめ細やか設定して支援しているか	2	3		
	14	子供の状態に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等ディサービス計画を作成しているか	3	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行れる内容や役割分担について確認するか	5			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをしその日行れた支援の振り返りを行ない気付いた点等を共有しているか	5			
	17	日々の支援に関して正しく記録を取ること徹底、検証・改善につなげているか	5			
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行ない、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			
	19	ガイドランの総則基本活動を複数組み合わせ支援行なっているか	3	2		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子ども状況に精通した最もふさわし者が参画しているか	4	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	2		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども児童発達支援事業所との間で情報共有と互換理解に努めているか	2	1	2	
	24	学校を卒業し、放課後等ディサービス事業所から障害福祉事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等情報を提供する等しているか	1	3		1
	25	児童発達支援センターや障害者等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	5			
	27	(地域自立支援)協議会などへ積極的に参加しているか		3	1	1
保護者等への説明責任	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達や課題について共通理解を持っているか	2	2	1	
	29	保護者の対応力向上を図る観点から、にしてペアレント・トレーニング等の支援の支援を行っているか	1	2	2	
	30	運営規定、支援の内容利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			
	31	保護者や家族からの子育て悩み等に対する相談適切応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1	1	
	32	父母の会活動を支援したり、保護者等開催するに等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2	3	
	33	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、保護者等に周知し、苦情があった場合迅速かつ適切に対応しているか	5			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			
	35	個人情報に十分注意しているか	3	2		
	36	障害のある子どもや保護者と意思疎通情報伝達ため配慮をしているか	4	1		
	37	事業所の行に地域住民を招待する等開かれた運営図っているか		2	3	
非常時等への対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3		
	39	非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会確保等、適切な対応しているか	3	2		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束行かについて、組織的決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか	1	3		1
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師指示所に基づく対応がされているか	4			1
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			

チェック 番号	チェック内容&コメント
1	室内の人数が、多くなりそうときは外出などをしている 外出活動と室内活動を分けている
8	職員の資質の向上を行なうために研修の機会を確保しているか 積極的に参加できるようにしている
14	子供の状態に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか 子供の状況に応じて計画を立てているが個別と集団を配慮して作成しているわけではない
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事所から障害福祉業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等情報を提供する等しているか 移行支援会議に参加することはほとんどないが支援内容は日頃より保護者や相談支援の担当と共有している
26	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか 児童館や近所の公園などで一緒に遊ぶ機会がある
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達や課題について共通理解を持っているか 毎日の状況を伝えあうことについては少々不十分な点がある
31	保護者や家族からの子育て悩み等に対する相談適切応じ、必要な助言と支援を行っているか 適切かどうかは分からないが積極的に話を聞くように心がけている
32	父母の会活動を支援したり、保護者等開催するに等により、保護者同士の連携を支援しているか 以前アンケートを取ったが”不要”という意見が多かった為設立していない
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師指示所に基づく対応がされているか 保護者の指示に基づいて対応をしている